



新春のお慶びを申し上げます。本年もよろしくお願いたします。

・ 病院長挨拶

病病・病診連携の強化にご理解・ご協力をお願いします。

新年おめでとうございます。本年もなにとぞよろしくお願い申し上げます。
さて、当院は本来の大学病院・特定機能病院としての役割を強化するために、
新しい診療体制の構築を図っています。2022年4月からはさらに改革を進めて
まいります。一例が外来運用の再構築です。具体的には、

1. 新規患者の受け入れ強化。円滑な受け入れのため、診療科毎に新規予約専用枠の設置。
2. 患者の逆紹介推進による病病・病診連携の強化。
3. 専門外来・土曜外来の充実。

紹介患者や急性期患者を受け入れた後、状態が落ち着けば、紹介元施設あるいはかかりつけ
医等の近隣施設に積極的に逆紹介し、投薬を含めたフォローを行っていただきます。そして、原疾
患に関する定期の検診は、本来の役割を果たすべく、当院で行う事を原則とします。
定期受診までの間は、逆紹介施設において、「かかりつけ医」としての機能を果たしてい
ただくことを想定しています。

その他救急体制等についても、患者や先生方にご迷惑をおかけしないように、お断り率ゼロを目指
して現在の体制を見直し、円滑な受け入れができるよう改革を進めてまいります。

色々な機会に当院から情報を発信させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

新春。絵に描いた餅にならないよう、全力で改革を進めたいと思います。

病院長 永井 敦



・ TAVI「経カテーテル大動脈弁植え込み術」開始のご案内

当院では、令和3年11月から、重症の大動脈弁狭窄症（重症AS）に対するTAVI（経カテー
テル大動脈弁置換術）を開始しました。

重症ASは心不全の発症や突然死のリスクが非常に高い疾患ですが、高齢化に伴って急速に増
加してきています。重症ASの治療には、①保存的治療、②開胸手術による弁置換術、③TAVI
があります。TAVIは大腿動脈からカテーテルを挿入して人工弁を心臓まで運び留置する手術
で、入院期間は約10日間で健康保険が適用されます。開胸手術に比べて傷口が小さく体への
負担も少ないので、高齢化する地域の患者さんにとって大きな福音です。

当院でもハイブリッド手術室を始めとした院内の環境整備とともに循環器内科医、心臓血
管外科医、麻酔医、看護師、ME、放射線技師を含むハートチームを組織し、TAVI導入に向け
た万全の準備をして参りました。この10月に「経カテーテル的心臓弁治療関連学会協議会」
から実施施設として認定され、11月からTAVIによる治療を開始しています。

TAVIの導入により高齢の方や他に合併症のある患者様など低侵襲の治療が望ましい方に当
院でも治療が行えるようになりました。診断・治療方針の決定もハートチームで丁寧に拝見
します。疑いの患者様、診断が確定していない患者様でも気軽にご相談ください。

「医療は患者のためにある」という当院の理念のもと、責任のある診療を行わせていただき
ます。

循環器内科 部長 上村史朗
心臓血管外科 部長 種本和雄